

JUKI



ジューキ コンピュータ ミシン
Frou frou Mini HZL-3000

使用説明書

1



3







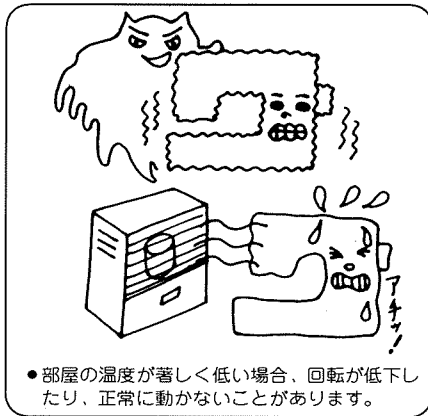
このたびは、ジューキコンピューターフリーアーム、HZL-3000型
ジグザグミシンを、お買い上げありがとうございました。

今日からあなたの、ホームソーイングプランの、パートナーとなりました3000型
は、直線縫いはもちろんのこと、そでつけや、カフスつけ、ズボン等の筒縫い
が簡単にできるフリーアームミシンです。更には、タッチスイッチにて模様を
合わせるだけで、ホームソーイングに適した数々の模様が美しく縫えますので、
裁ち目かがり、ブラインドステッチ、ストレッチステッチ等々、十分に活用し
て頂けると確信しております。又、美しいボタン穴かがりも、タッチスイッ
チの操作だけで簡単に縫える内蔵機能は、ホームソーイングをよりスピーディー
にしてくれます。

このような優れた機能を楽しくご使用頂くためには、このミシンの正しい取扱
い方が基本となります。どうぞこの使用説明書を、よくお読み頂き、楽しいホ
ームソーイングのパートナーとして、末長くご愛用下さいますようお願い申し
上げます。

正しくご使用いただくために、次の注意事項は必ずお守りください。

ご使用になる部屋の温度は
5℃～40℃の範囲でお使いください。



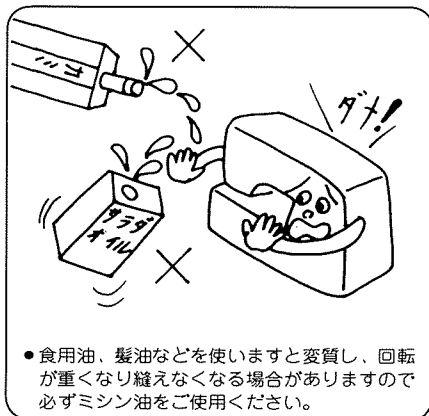
小さなお子様のいるご家庭では、手の届くところには置かないでください。



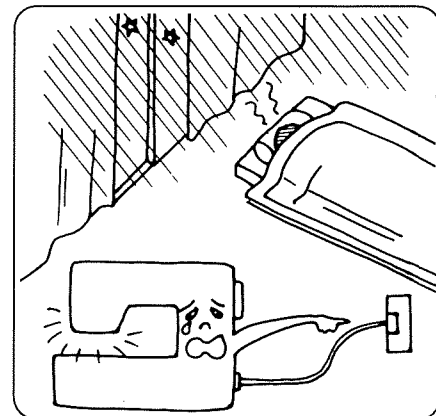
直射日光が当る場所、湿気が非常に高い場所には長く置かないでください。



ミシン油以外の油は
使用しないでください。



お出かけや、おやすみになるときは必ず電源スイッチを切り、コンセントからプラグを抜いてください。



シンナーやその他の溶剤では
拭かないでください。

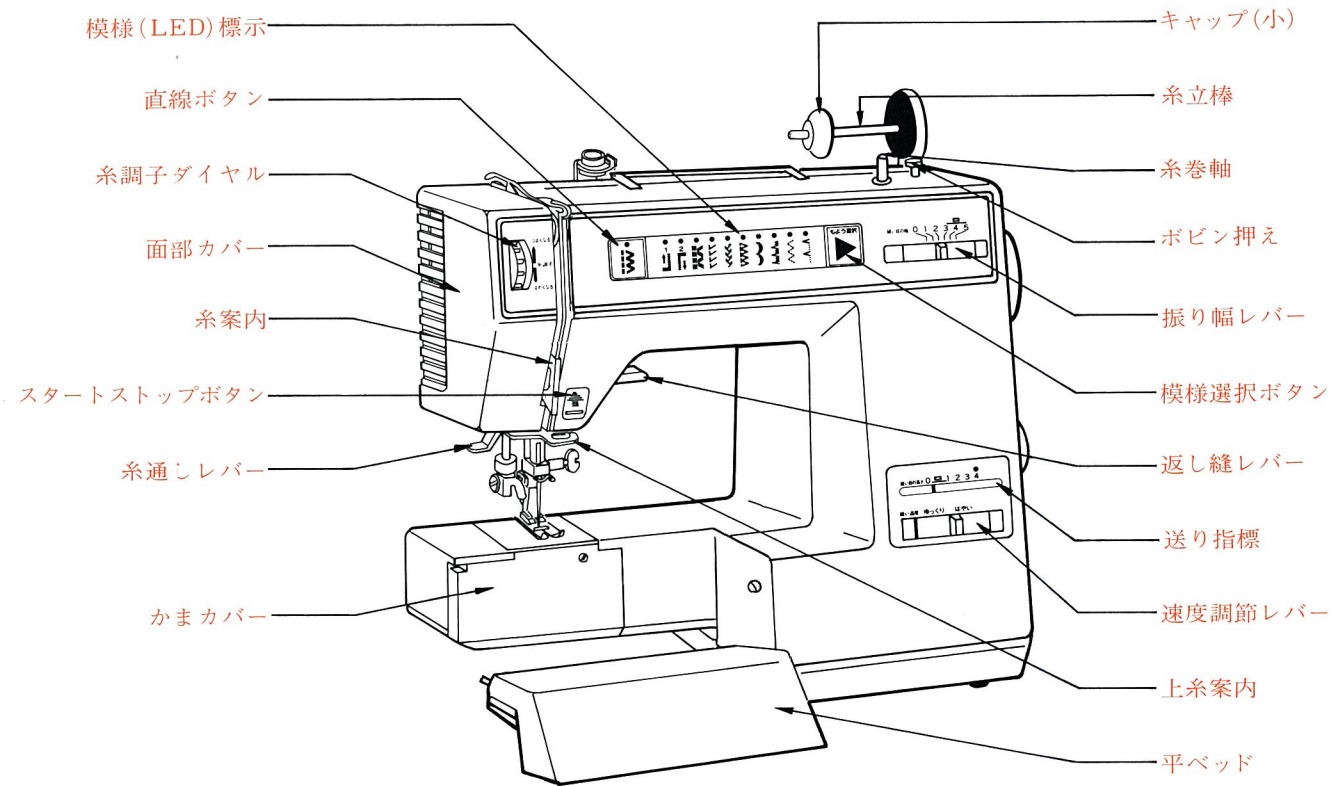


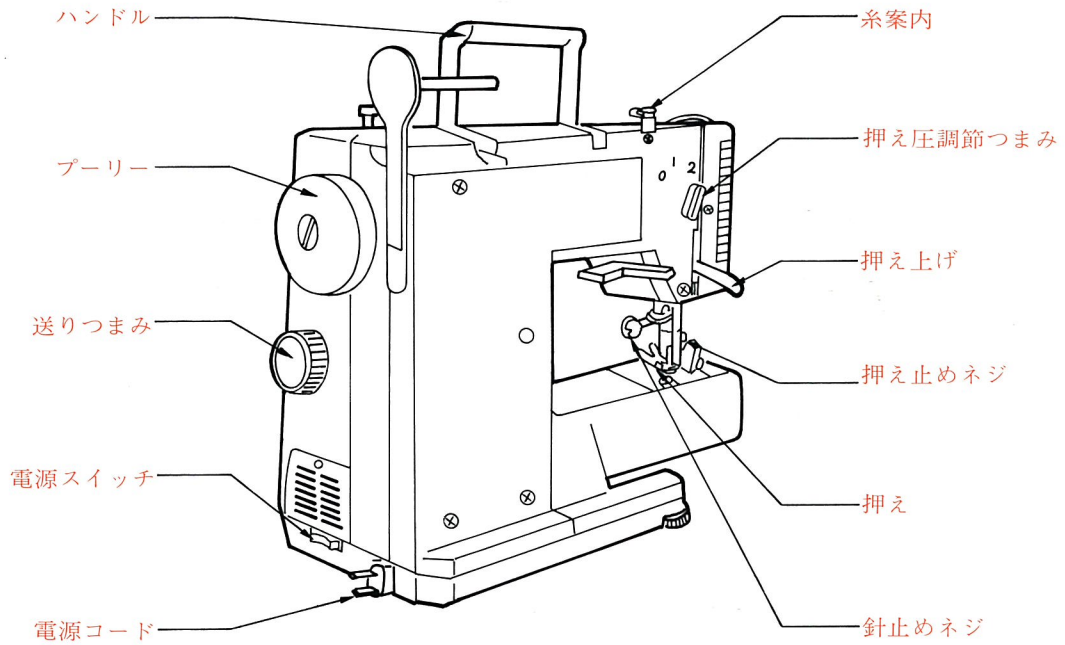
も く じ

各部の名称	1、 2
付属品	3
付属品袋収納方法	3
平ベッドとフリーアーム	3
ケースの取り外し方	4
ドロップフィード	4
電源	4
電源ランプスイッチ	4
押えの圧力調節のし方	5
針の取りかえ方	5
押えの交換方法	5
二段式押え上げ	5
布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方	6
上糸のかけ方	7
糸通し器の使い方	8
下糸の巻き方	8
ボビンケースおよびボビンの取り出し方	9
ボビンケースに入れる方法	9
ボビンケースの入れ方	10
下糸の引きあげ方	10
縫方向の変え方	10
コントロール	11
模様選択のし方	11
振り幅調節のし方	11

送り調節のし方	11
スタートストップボタンの使い方	12
速度調節のしかた	12
返し縫いのしかた	12
糸調子の出し方	13
縫い方（模様選択）と操作方法一覧	14
縫い始め	15
縫い終り（縫い物のはずし方）	15
直線用針板	15
シグザグ縫い	16
裁ち目がかり	16
ブラインドステッチ（まつり縫い）	16
伸縮縫い	17
突き合わせ	17
ファスナーつけ	17
ボタン穴かがり	18
ボタン穴かがりの調節	18
三つ巻き縫い	19
棒定規の使い方	19
針の選び方	19
コントローラーを使った場合のミシンの動かし方	20
手入れ（掃除と注油）	21、 22
ミシンの調子の悪いとき	23、 24

■各部の名称





■付属品



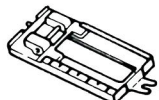
ボビン
5ヶ



直線押え



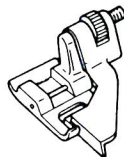
三ツ巻押え



ボタン穴かがり
押え



ファスナー
押え



ブラインド
ステッチ押え



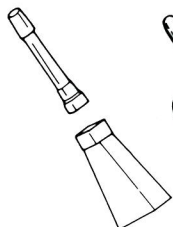
裁ち目
かがり押え



直線用針板



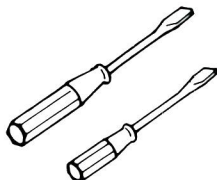
棒定規



油さし



リッパー
(糸ほどき) ドライバー大・小



キャップ(大)



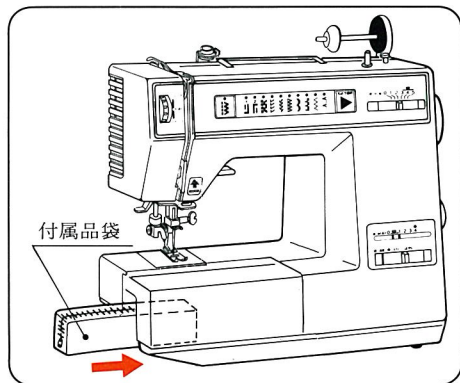
針
(11番…2本)
(14番…1本)



ニット針
(11番…1本)

■付属品袋収納方法

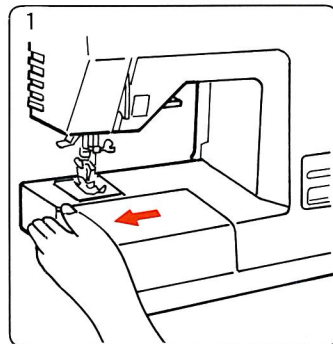
●付属品袋



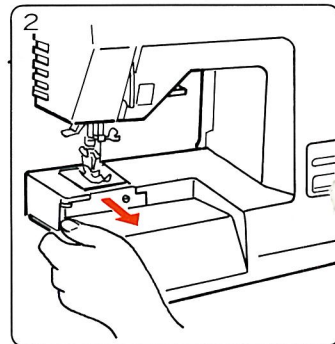
ミシンを使用しない
時は平ベッドの中に
収納して下さい。

■平ベッドとフリーアーム

●フリーアームのセット

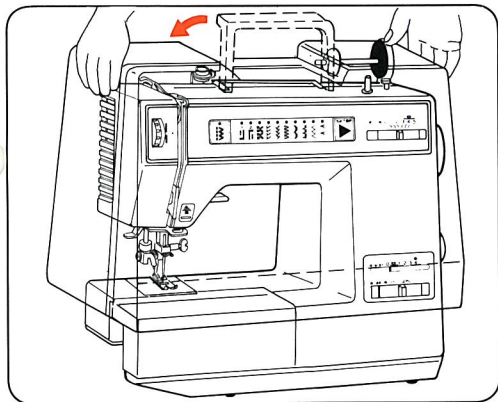


1
ベッドを左へ引きます。



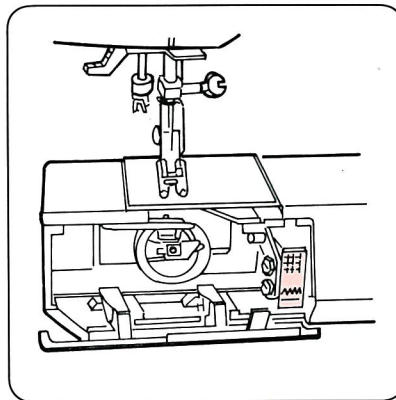
2
手前に引くとベッドが下へさがります。

■ ケースの取り外し方



ケースはハンドルを向う側に倒し真すぐ上に持ち上げるだけで外せます。

■ ドロップフィード



← 模様
この模様の方を押すと送り歯がさがり布地は送りません。



- 刺しゅうやつくろいもの (布地は送らない)

← 模様

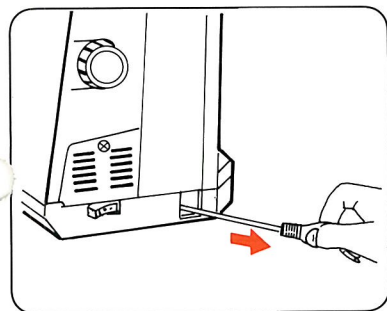
普通に縫うときはこの状態にしておきます。



- 普通の縫製 (薄物、中物、厚物)

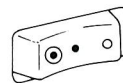
■ 電源

● 電源コンセント(コードリール)

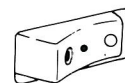


コードを引き出しコンセントへ差し込みます。コードを少し引いてゆるめると、自動的に巻き込まれます。(黄の帯以上は引き出さないでください)

● 電源ランプスイッチ



● にすると電源が入り、ミシンを使用できます。

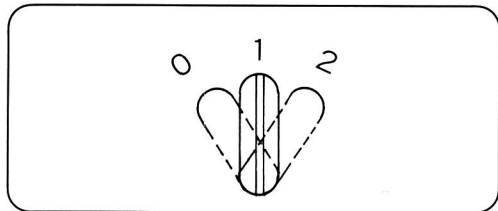


○ を押すと電源が切れます。



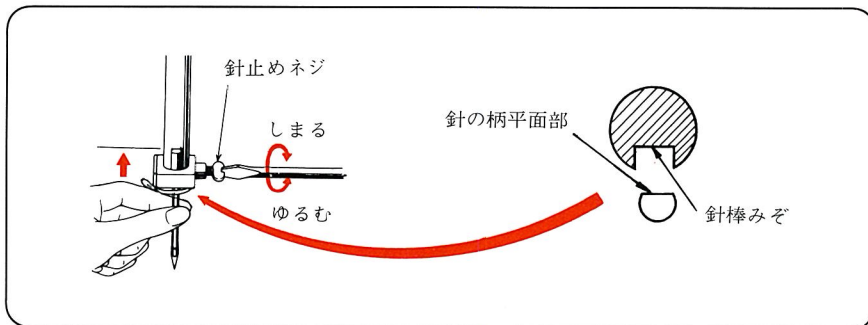
● を押すと上の状態で、さらにランプがつかみます。

■押エの圧力調節のし方



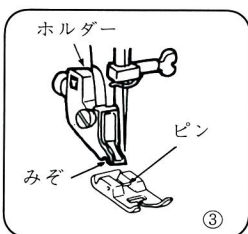
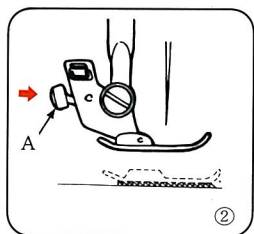
- 0では押エの圧力は全くなくなります。
- 1では押エの圧力はやゝ強くなります。
- 2では押エの圧力は最も強くなります。
- 厚物、うす物および布の種類によって押エの圧力を調整します。
- ししゅう縫い、かがり縫い等は圧力を全くなくします。

■針の取りかえ方



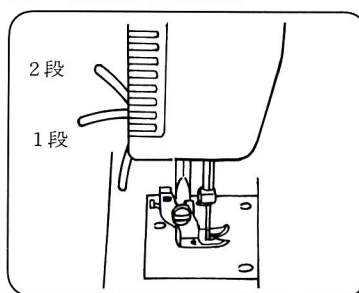
針は柄の平面部を針棒みぞ側に向け、上方へ当るまで差しこみ、針止めネジをかたくしめます。

■押エの交換方法



- ① 押え上げで押えを上にあげます。
- ② 押え替えボタン (A) を押すと押えがはずれます。
- ③ 押えのピンをホルダーのみぞの真下におきます。
- ④ 押え上げをさげると押えが取りつきます。

■二段式押え上げ



- 押え上げを1段あげた場合は上糸はゆるみません。
- 押え上げを2段まであげた場合は上糸はゆるみます。
- 用途によって使いわけします。

■布地・ミシン糸・ミシン針の関係とミシンの合わせ方

	布 地	ミシン糸	ミシン針	押えの強さ	縫い目の長さ		糸 調 子 の 目 安
					直線縫い	ジグザグ縫い	
			 HA×1	押え調節つまみ 0 1 2 	縫い目の長さ 送り指標 		糸調子ダイヤル
薄地縫い 	ローン	カタン糸——80番	(9番) 11番	0 1 2 	1～3	1～4	ふつうよりやや弱く
	ジョーゼット	絹ミシン糸——50番 化繊・細ミシン糸—90番					
	★トリコット	化繊ミシン糸—50・60番	11番 (ニット針)				
	ウール・化繊布	絹ミシン糸——50番 化繊ミシン糸—50・60番	11番				
普通地縫い 	普通木綿・化繊布	カタン糸——60～80番 化繊ミシン糸—50・60番	11番	0 1 2 	1.5～3	0.5～4	ふつう
	★薄手ジャージー	絹ミシン糸——50番 化繊ミシン糸—50・60番	11番 (ニット針)				
	一般ウール・化繊服地	絹ミシン糸——50番 化繊ミシン糸—50・60番	11～14番				
厚地縫い 	デニム	カタン糸——30～50番 化繊ミシン糸——50番	14～16番	0 1 2 	2～4	0.5～4	ふつうよりやや強く
	★ジャージー	絹ミシン糸——50番 化繊ミシン糸—50・60番	11～14番 (ニット針)				
	コート地	絹ミシン糸——50番	11～14番				

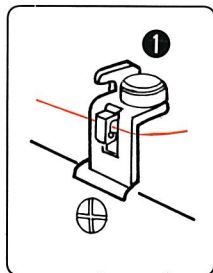
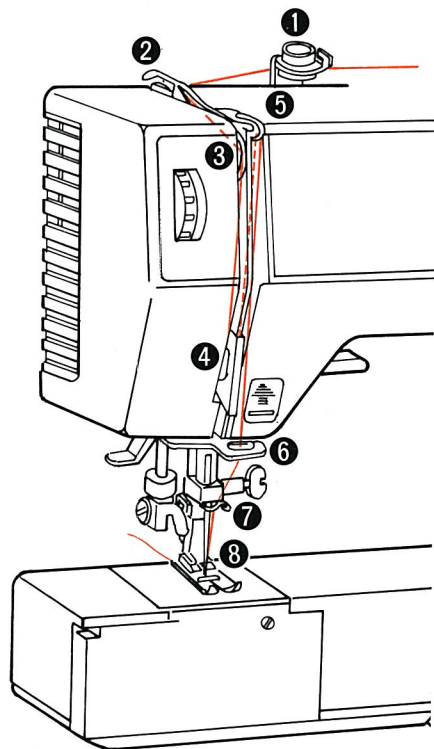
★印はニット針を使用して下さい。

(ニット針…針の幹が細く、針穴が大きくえぐられています。目とびを 방지、伸縮性の布地に適します。)

■上糸のかけ方

押え上げを2段まであげて（P4二段押え上げ参照）

①から⑧の順に糸をかけていきます。



キャップ(小)の場合（ミシンに
セットされています）
糸ゴムがキャップ(小)の外周より
小さいときに使います。

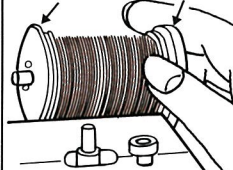
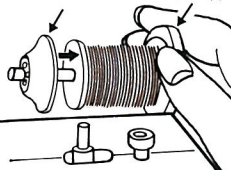
キャップ(大)の場合（付属品袋
に入っています）
糸ゴムがキャップ(小)の外周より
大きいときに使います。

キャップ(小)

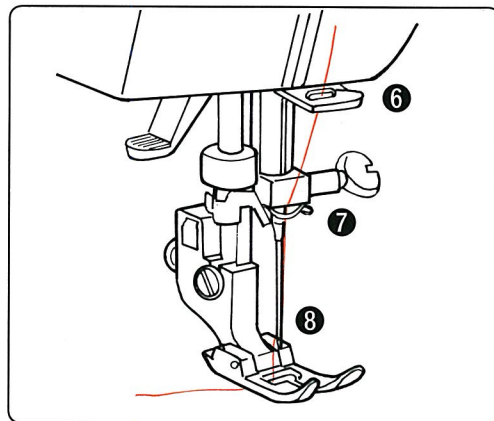
糸立棒

キャップ(大)

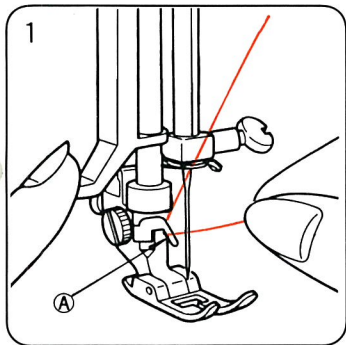
糸立棒



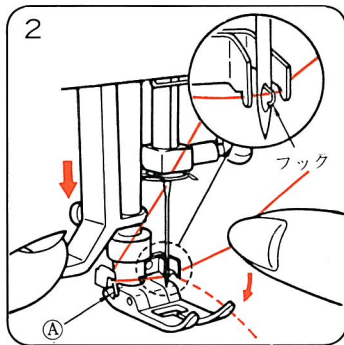
糸立棒を右手でささえながら糸ゴムを糸立棒に入れて、
キャップで糸ゴムが動かないように押えます。
※糸ゴムは切り込み部から糸立棒に入れます。



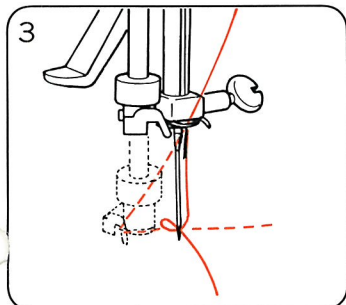
糸通し器の使い方



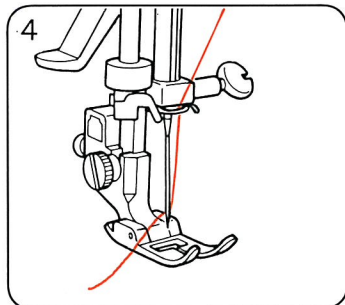
糸通しレバーをおろしながら①のと
ころに内側から糸をかけます。
※糸は軽く引っ張ってください。



糸通しレバーをいっぱいまでおろすと自動的に①が回転しますので糸を
フックの下に持っていきます。
※糸を手前に軽く引き、フックに糸が
かかっているか確認してください。

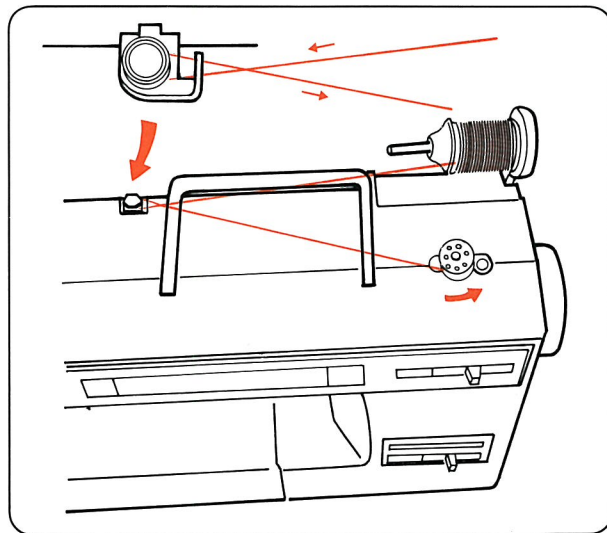


糸通しレバーを離すと、糸は針穴に
通っています。
※糸通しレバーを離すとき、右手の糸
をゆるめてください。

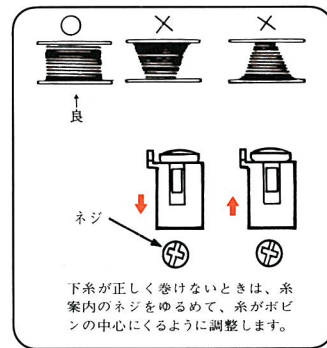
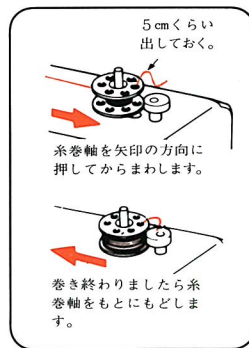


通した糸を10センチくらいひき出し
ます。

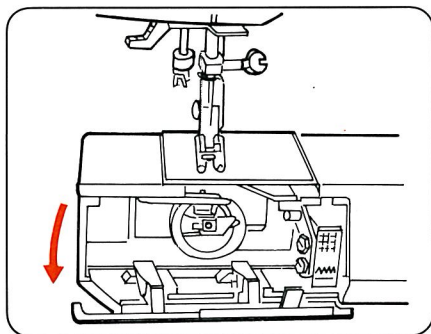
下糸の巻き方



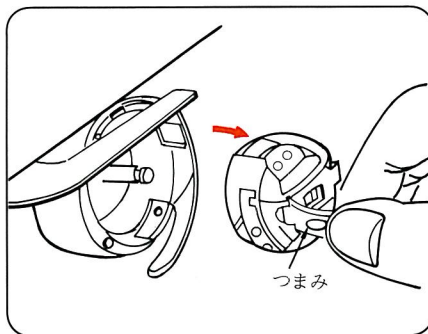
図の様に糸をかけて巻きます。



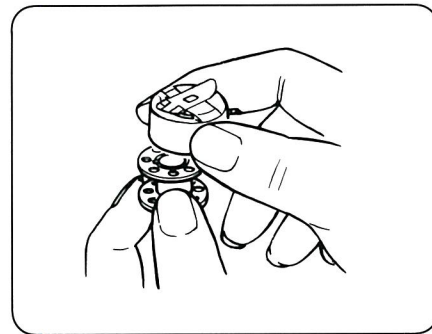
■ボビンケースおよびボビンの取り出し方



① かまカバーを開けます。

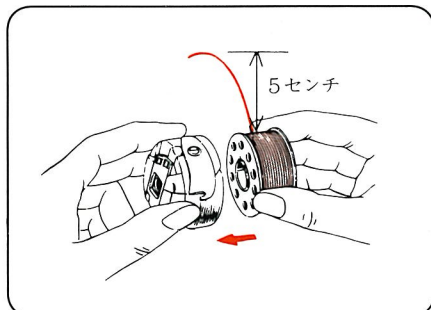


② ボビンケースのつまみを引きおこしてボビンケースを取り出します。

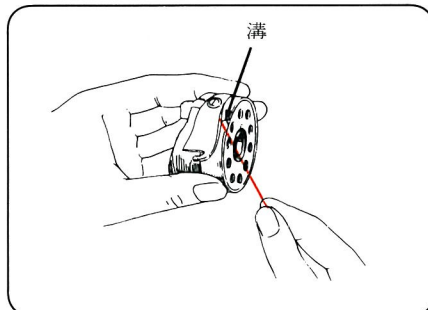


③ ボビンケースのつまみをとじて、下向きにするとボビンがとり出せます。

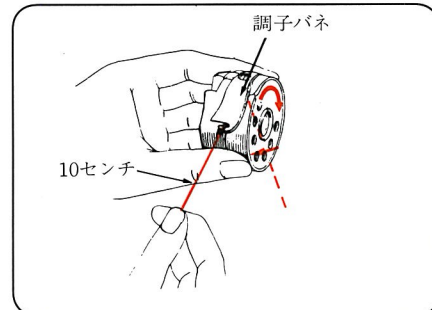
■ボビンをボビンケースに入れる方法



① ボビンから糸はしを向う側へ5cmほど引き出し、ボビンケースに入れます。

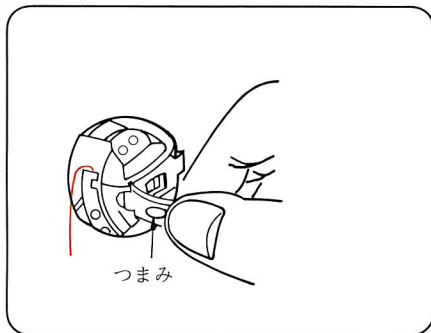


② 糸はしを溝に入れます。

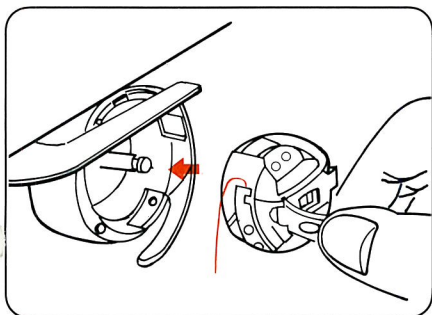


③ 糸を調子バネの下にくぐらせ10cmほど引き出しておきます。

■ボビンケースの入れ方

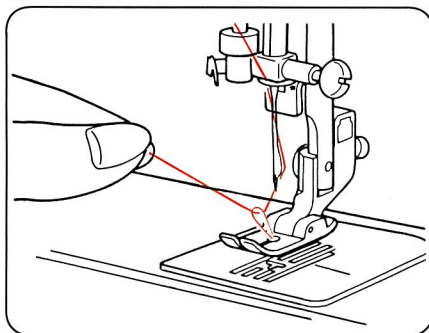


- ① 糸を手前にたらし、つまみをいっぱい起こし、ボビンケースを持ちます。

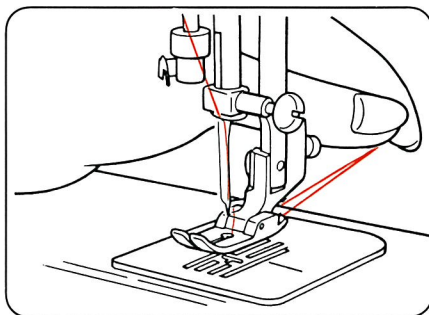


- ② ボビンケースは、かまにしっかりと差し込みます。

■下糸の引きあげ方

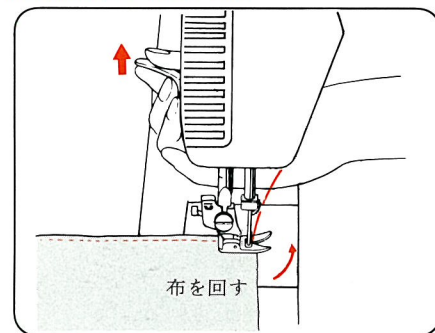


- ① 上糸を持ったままプリーを手にまわし、針を1回上下させて、針があがったところ（天びんがま上にきたところ）で止めて上糸を軽く引きますと、下糸が出てきます。

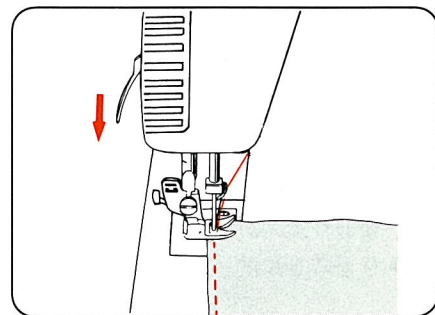


- ② 下糸を引き出し上糸とそろえて押えの下を通し、向こう側へ出します。

■縫方向の変更方



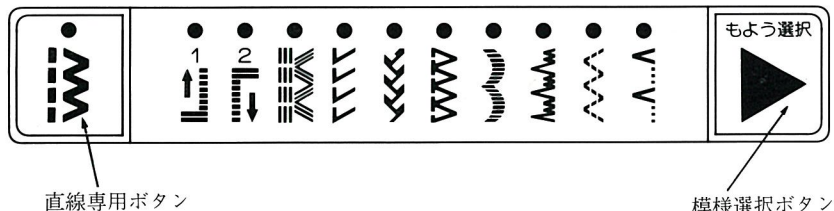
- ① 針を布地におとしたまま押えを1段あげ針を軸にして布地をまわし、縫い方向にセットします。



- ② 押えをさげて縫い始めます。

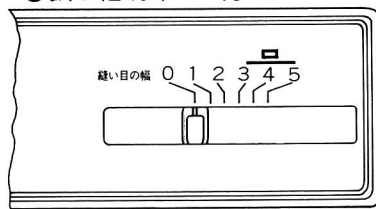
■コントロール

●模様選択の仕方



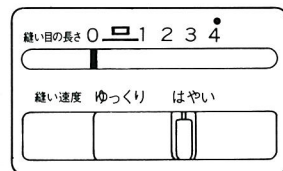
- 模様選択ボタンを押して模様を選びます。
- 選ぶ模様にくるまでボタンは押しつづけます。
- 直線および普通のジグザグ縫いの場合は直線専用ボタンを押して下さい。
- 直線専用ボタンはすぐにはなしてもかまいません。
- 選択後、LEDの点滅が停ってから縫って下さい。
- LEDが点滅している間は模様選択およびミシンのスタートはできません。

●振り幅調節の仕方



- 振り幅レバーを左右に動かすと縫い目の振り幅が変わります。
- 0から5に向って振り幅が大きくなります。

●送り調節の仕方

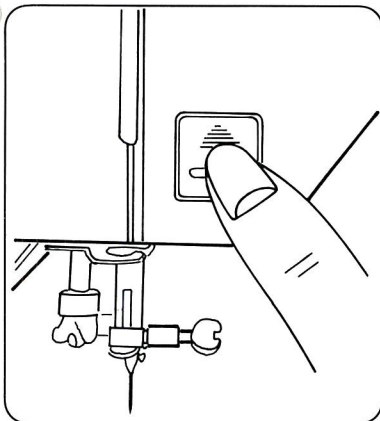


送りつまみ

- 送りつまみを回すと縫い目の長さが送り指標に表示されます。
- 0から4に向って縫い目が大きくなります。
- 青色の模様(スーパー模様)の場合は必ず4にして下さい。

●スタートストップボタンの使い方

スタート・ストップボタン

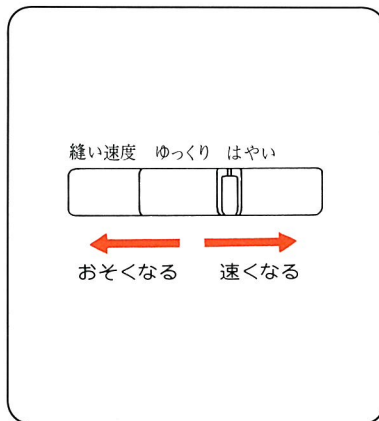


ミシンをスタートさせます。再度押すとストップします。

※コントローラー使用の場合はコントローラーを踏みこんだ状態でスタートストップボタンにて停めて再スタートはできません。一旦コントローラーをはなしてから再スタートして下さい。

●速度調節のしかた

縫い速度調節レバー

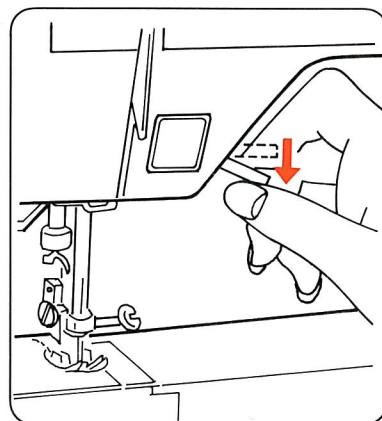


縫いの速さを調節します。

※コントローラー使用の時に踏みこんでミシン回転中は動作しません。

●返し縫いのしかた

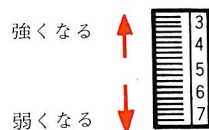
返し縫いレバー



レバーを押している間だけ返し縫いができます。

■糸調子の出し方

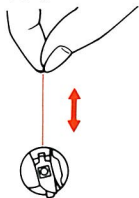
糸調子ダイヤルを回して上糸の調子を調整します。



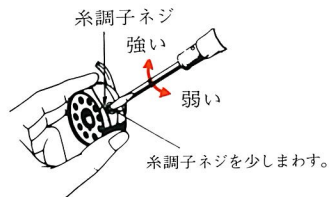
上糸調子だけで調整できなかった場合は下糸を調整します。

- 下糸の張力は、上下にふって自然に落ちるのを目安とします。

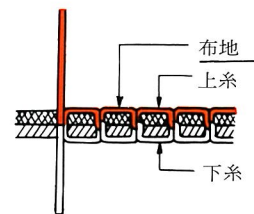
下糸調子(ボビンケース)



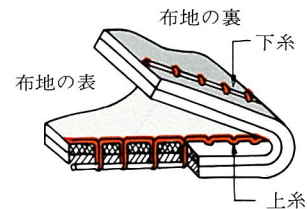
- ボビンケースの糸調子ネジを右へまわすと糸調子が強くなり、左へ回すと弱くなります。



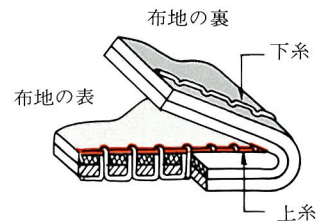
正しい糸調子



上糸の調子が弱い場合



上糸の調子が強い場合



■縫い方 (模様選択) と操作方法一覧 (①から順次操作して下さい。)

	縫い方 \ 操作	縫い模様	① 送りダイヤル	② 振り巾レバー	③ 選択ボタン	押え	ドロップ フィード
1	直線縫い					 直線押え	
2	ジグザグ縫い					 ジグザグ押え	
3	フルオート ジグザグ					 ジグザグ押え	
4	スーパー ジグザグ					 ジグザグ押え	
5	ボタン穴かがり					 ボタン穴かがり押え	

●縫い始め

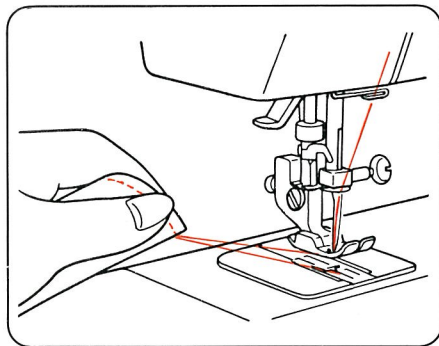
*縫い始めの要領

- ① 糸通し器にて正しく糸を通します。
- ② 上糸と下糸をそろえて押えの下から向うへ10cmほど出しておきます。
布の縫い始めを針下におき、押えをさげます。
- ③ スタートストップボタンを押して縫い始めます。
- ④ 縫う布地の端切れで試し縫いをし、糸調子を確めます。

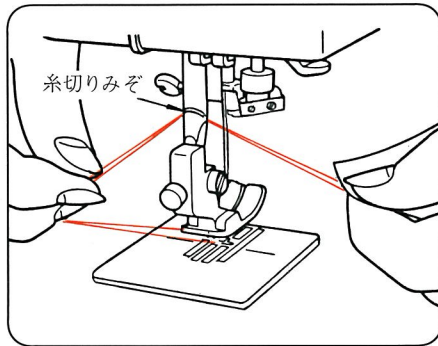
*縫い方のご注意

- ① プーリーは常に手前にまわし逆転させないでください。(かまの糸からみ防止)
- ② 裁縫中の手は布送りに合わせて布を導く程度にしてください。
- ③ ミシンが停止し針が布地を刺しているときは、振り幅レバーを動かさないでください。(針が折れます)

●縫い終り (縫い物のはずし方)



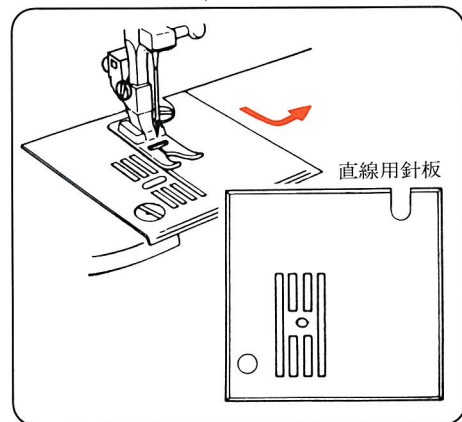
- ① 布地を向側に引き出します。



- ② 布地について引き出された上糸と下糸をそろえ図のように糸切りみぞにかけて糸を切ります。

●直線用針板

直線用針板は薄地や伸縮性の生地、直線縫い、ファスナーつけ、三つ巻き縫いなどを、より美しく縫い上げるために使用します。



針板の取りかえ方

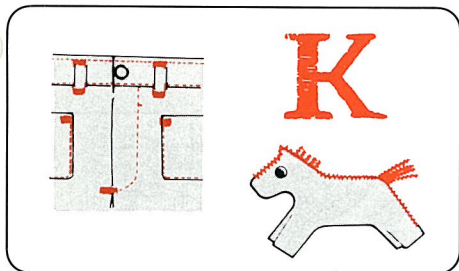
- ① 押えを上にあげます。
- ② 針板を直線用の針板と交換します。
(カマカバーを開け針板の手前を上を持ちあげて手前に引くとはずれます)
- ③ 直線用針板をはめ込みます。

直線用針板使用上の注意

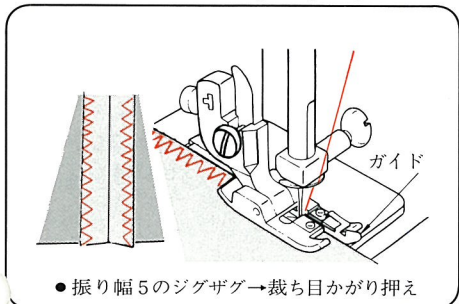
- ① 振り幅レバーはかならず直線の位置へセットして下さい。

●ジグザグ縫い

密着縫いでイニシアル模様やアップリケの縫いつけができます。ポケットの口縫いなど強固な縫いに利用できます。



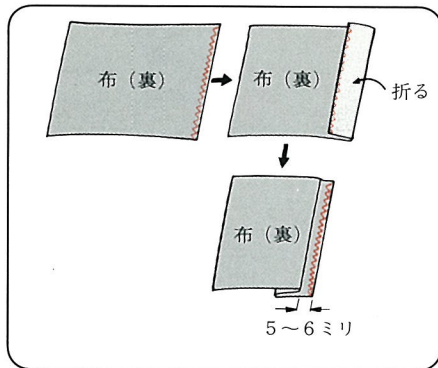
●裁ち目かがり



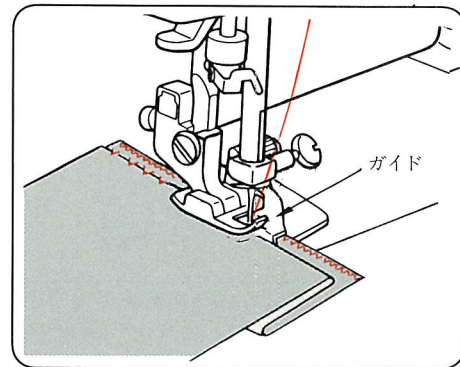
薄い布地の場合は布端が丸まりやすいため裁ち目かがり押えを使用しますと美しく仕上がります。

※裁ち目かがり押えを使用する場合は振り幅は最大で使います。針が押えツノ部に当り針折れする事があります。

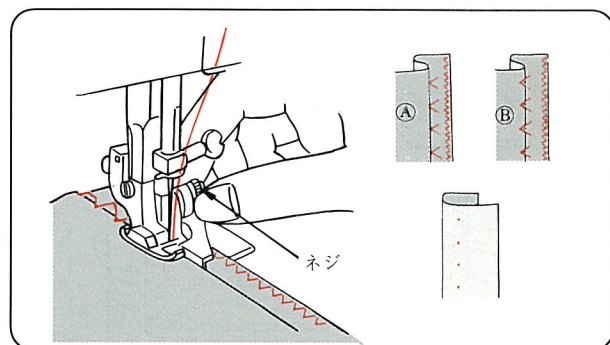
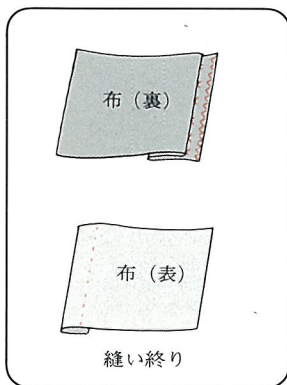
●ブラインドステッチ (まつり縫い)



① 布端を裁ち目かがりして、布地を2つ折り、もう一度折ります。

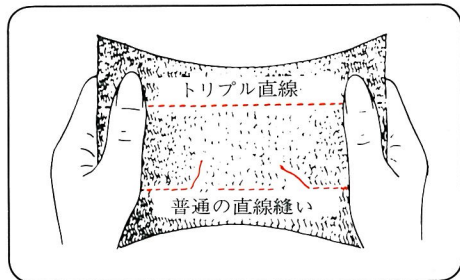


② ブラインドステッチ押えのガイドを折り山にピッタリ当てて縫います。



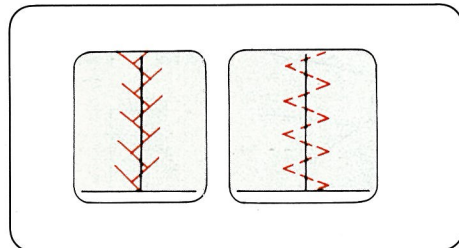
③ 針が折り山にかかっていないとき(A)はネジを手前に回すと深くなります。針が折り山にかかりすぎるとき(B)はネジを反対に回すと浅くなります。

●伸縮縫い



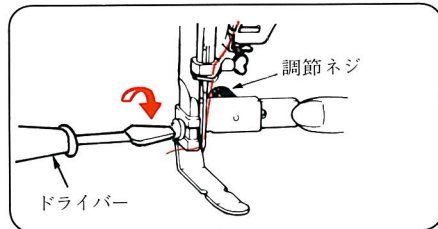
伸縮素材の縫製には ||| (直線) や 〰 (ジグザグ) の模様で縫いますと 素材が伸びた場合でも縫い糸が切れる事はありません。

●突き合わせ



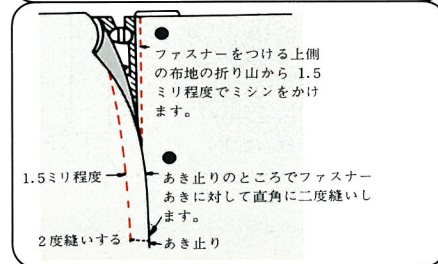
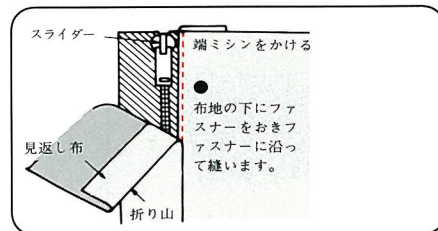
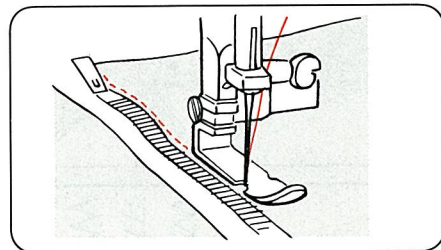
振幅最大で上図の模様を利用する事によりしっかりと突き合わせ縫いができます。

●ファスナーつけ



- ① ファスナー押えを取りつけます。
- ② 調節ネジをゆるめ、針が押えの端のみぞのまん中に落ちるように調節します。

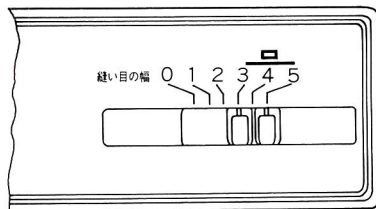
- 右側のファスナーをつけるときは、押えの左側みぞに針が落ちるように調整します。
- 左側のファスナーをつけるときは、押えの右側みぞに針が落ちるように調整します。



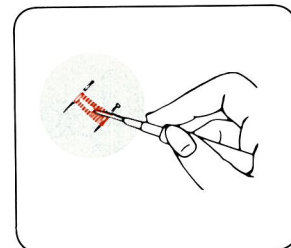
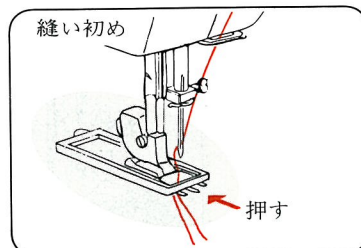
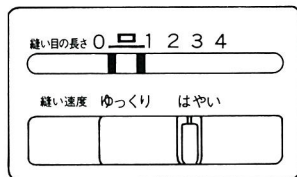
- ① 縫いつける布地の端を下へ2センチほど折り曲げ、ファスナーの布の上へ重ねて縫います。
- ② 押えは常に布地だけを押し、ファスナー金具を押さないようにし、金具を押えのふちにそわせて縫います。

●ボタン穴かがり

振り幅レバーの合わせ方



送りつまみの合わせ方



布をセットする前にボタン穴かがり
押えを向ういっぱいにしておきます。

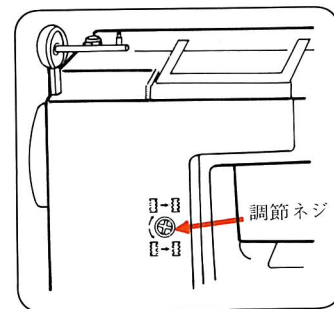
○リッパー（糸ほどき）で縫い目
を切らないように、真ん中を切り
開きます。

模様選択	縫目	縫い方
1 ↑ [stitching symbol]	[stitching symbol]	①模様選択ボタンにてBH1に合わせます。 ②スタートストップボタンを押して縫い始めます。 ③かん止めを5針、縫った後、一担停って自動的に右側のかがり縫いに切り換ります。 ④ボタンの大きさに合わせて、長さを決めてスタートストップボタンにて停めます。
2 [stitching symbol]	[stitching symbol]	⑤模様選択ボタンにてBH2に合わせます。 ⑥スタートストップボタンを押して縫います。 ⑦かん止めを5針縫った後、一担停って自動的に左側のかがり縫いに切り換ります。 ⑧最初のかん止め位置まで縫ってスタートストップボタンにて停めます。
2 [stitching symbol]	止め縫い	⑨振り幅レバーを直線に合わせます。 ⑩2～3針止め縫いをします。

●ボタン穴かがりの調節

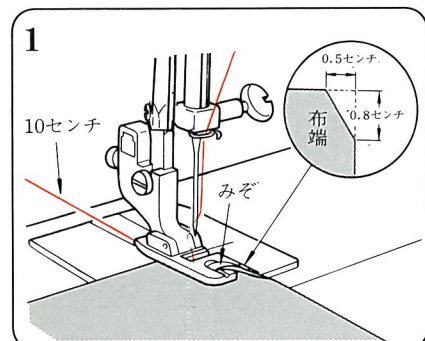
- ボタン穴かがり縫いに各つまみをセットします。但し模様選択ボタンはボタン穴かがりの(1)又は(2)にセットします。
- 調節はアーム背面の穴からドライバーで行ないます。

不良	調節	良
[stitching symbol]	[X in circle]	[stitching symbol]
[stitching symbol]	[X in circle]	[stitching symbol]

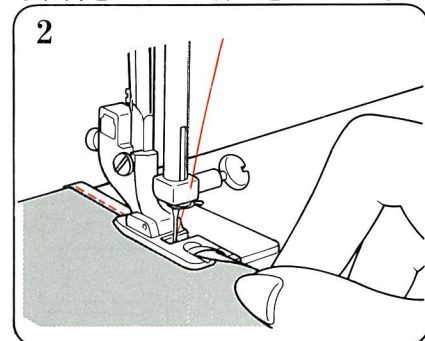


●三つ巻き縫い

●縫い方

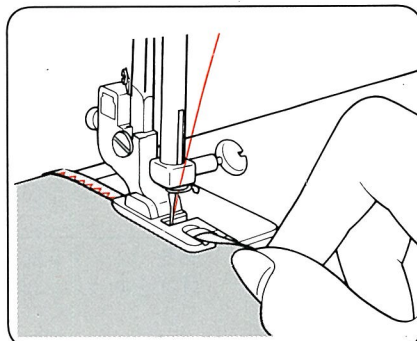


布地を巻き込みやすくするため角を少し切り、押えのうず状のみぞの中に、布地を針のとどくところまで入れてから、針をおろして押えをさげます。



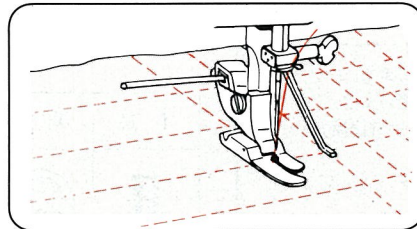
上下の糸端を左手で引き、手ではずみ車を3~4回まわし、正しく巻き込まれましたら、右手の親指と人さし指で布地をつまみ、常に適量がくり入れられるようにして縫います。

●ジグザグ縫いの場合



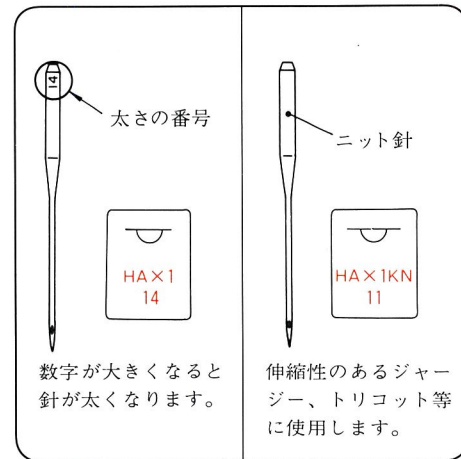
ジグザグ縫いの場合は、振り幅を2にし、直線と同じ方法で縫います。ハンカチ、スカーフなどの縫い代をかけるのに最適です。

■棒定規の使い方



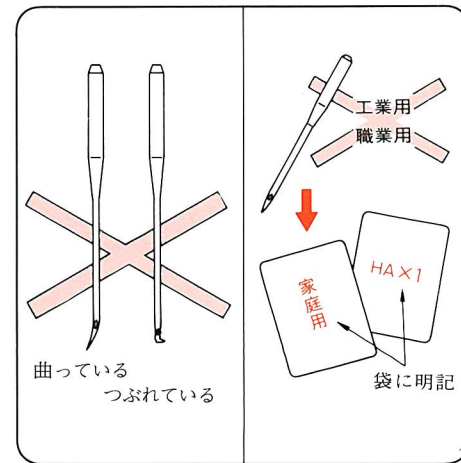
- ① 棒定規の端を押えホルダーのスプリングの中へ差し込みます。
- ② 棒定規を動かして縫い目と縫い目の間隔を調節します。

●針の選び方



数字が大きくなると針が太くなります。

伸縮性のあるジャージー、トリコット等に使用します。



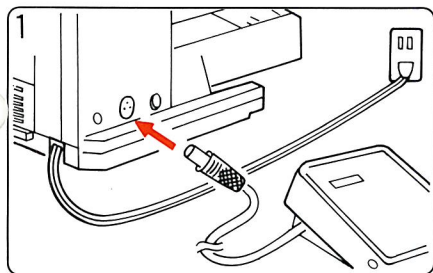
曲っている
つぶれている

家庭用

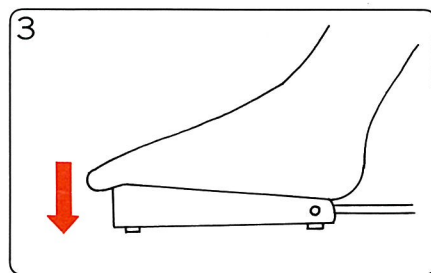
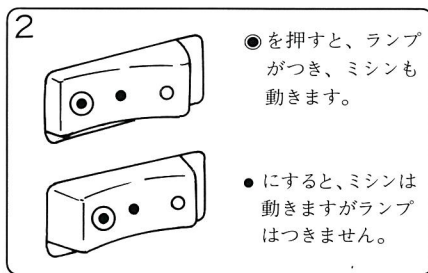
HAx1

袋に明記

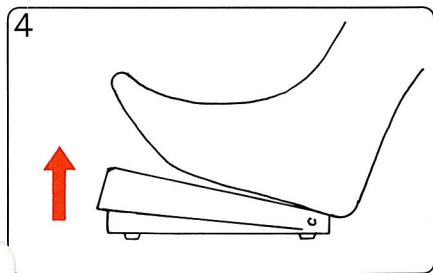
■コントローラーを使ったときのミシンの動かし方(別売)



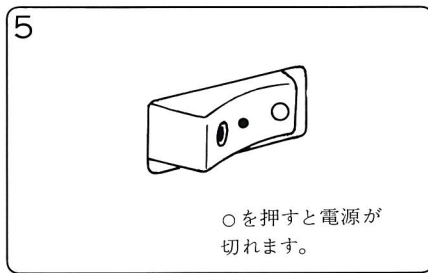
コントローラーのプラグをミシンのコンセントに差し込みます。



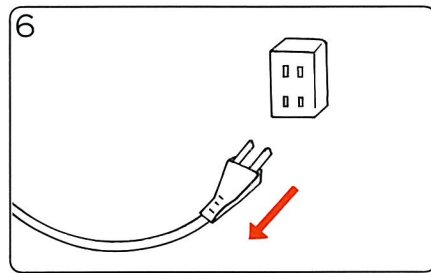
コントローラーを踏みますと、ミシンがスタートし速度の調節ができます。



足をはなしますと、ミシンは止まります。



※ミシンを使用していないときは必ず電源を切っておください。

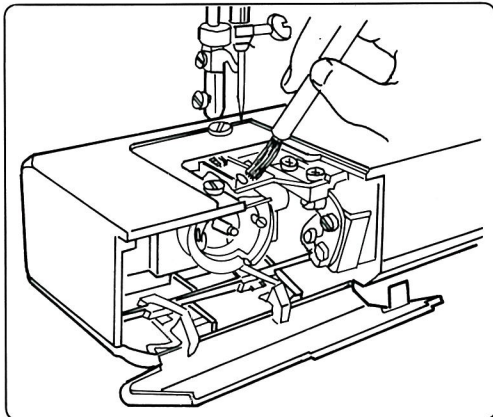


コンセントからプラグをぬいて、コードを少し引きますとコードはコードリールに自動的に巻かれます。

※別売品については、お買い上げ店でご相談して下さい。

■手入れ

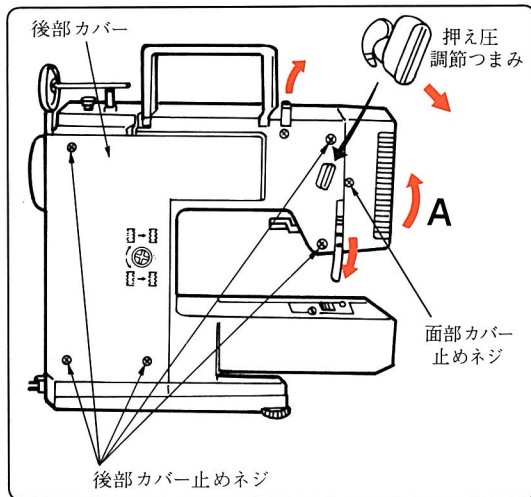
●掃除



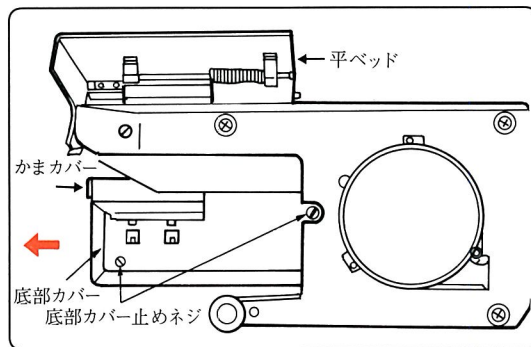
- ① 送り歯と針板の間に糸くずやほこりがたまりまるといろいろな故障の原因になる場合がありますので常にきれいにしておきます。針や押え及びかまカバーを開け針板をはずして通常は掃除用ブラシを使います。糸くずやほこりがたくさんたまってしまったときは掃除機で吸いこむようにするときれいになります。
- ② かま周辺に糸くずやほこりがたまりまるといろいろな故障の原因になりますので掃除用ブラシやピンセットなどで常にきれいにしておきます。

●注油

各カバーのはずし方



- 面部カバーのはずし方
 1. 面部カバー止めネジをはずす。
 2. 面部カバーを A 矢印の様に回転させてはずす。
- 後部カバーのはずし方
 1. 後部カバー止めネジ (5本) をはずす。
 2. 押え圧調節つまみを抜き取る。
 3. 押え上げを下げハンドルを立てて、後部カバーをはずす。

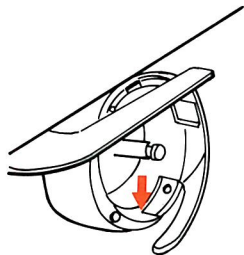


- 底部カバーのはずし方
 1. 平ベッドとかまカバーを開く。
 2. 底部カバー止めネジ (2本) をはずす。
 3. 底部カバーを矢印の方向へ移動させてはずす。

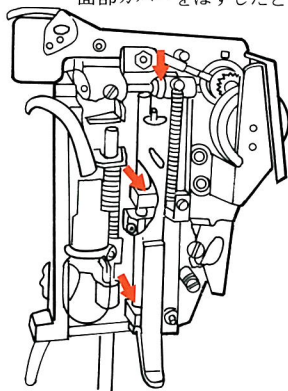
注油は矢印のところに1～2滴注油してください。

※注油の際 電子部品及び各ベルトに油が かからない様注意してください。

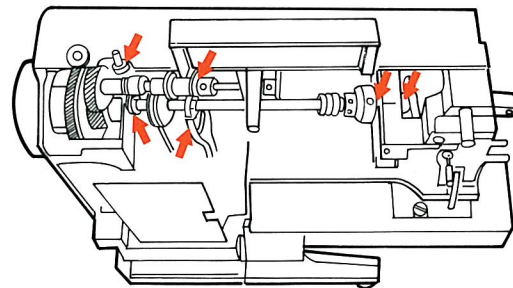
かまカバーを開けたところ



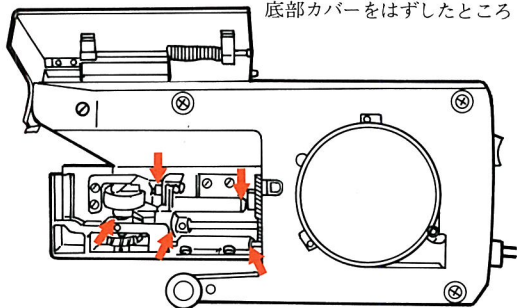
面部カバーをはずしたところ



後部カバーをはずしたところ



底部カバーをはずしたところ



■ミシンの調子が悪いとき

調子よく縫えない状態	原因	調整方法	ページ
布が送らない場合	●ドロップフィードが(ⅢⅢ)になっているとき。	ドロップフィードを正常の位置(ⅡⅡ)にもどします。	4
	●ミシンが空転しているとき。	糸巻軸を元の位置(左側)にもどします。	／
	●送りダイヤルが「0」の位置にあるとき。	送りダイヤルを1～4に合わせます。	11
	●押えの圧力が弱いとき。	厚物のときは押えの圧力を強くします。	5
針が折れる場合	●針のつけ方が間違っているとき。	正しく取りつけます。	5
	●針が曲っているとき。	新しい針に取り換えます。	5
	●布地を不当に引っ張ったとき。	布を引っ張ったり押えたりしないようにします。	／
	●針・糸・布地の関係が悪いとき。	布地に合った針・糸を使います。	6
直線縫いが悪く、上糸が切れる場合	●振り幅レバーが「0」にもどっていないとき。	正常な位置に合わせます。	／
	●糸のかけ方が間違っているとき。	正しくかけ直します。	7
	●糸が必要以外の所かららんでいるとき。	糸立棒、上糸案内等に糸がからまっていないか確認します。	／
	●上糸の調子が強すぎるとき。	上糸調子を正しく直します。	13
	●針が曲っているとき。	新しい針に取り換えます。	5
下糸が切れる場合 縫い目がとぶ場合	●下糸の調子が強すぎるとき。	下糸調子を正しく直します。	13
	●針のつけ方が間違っているとき。	正しく取りつけます。	5
	●針が曲っているとき。	新しい針に取り換えます。	5
	●糸のかけ方が間違っているとき。	正しくかけ直します。	7
	●糸くずが針板の下にたまっているとき。	送り歯を掃除します。	21
回転が重く、音が高い場合	●油がきれているとき。	動く部分に注油します。	22
	●釜に糸くずがたまっているとき。	釜を掃除します。	21
縫い物にしわがよる場合	●糸調子が強すぎるとき。	上下糸とも糸調子を合わせます。	13
	●布地と針と糸が合っていないとき。	正しく合わせます。	6
	●押えの圧力が強いとき。	正しく合わせます。	5

調子よく縫えない状態	原因	調整方法	ページ
縫っている時、急に回転しなくなった。	●低速縫いを長時間行ったとき。	電源スイッチを切り、しばらく(約20分間)すると、	／
	※モーターが異常発熱を防ぐため、自動的にモーター電源が切れるしくみになっています。	安全装置が復帰し、正常にもどります。	
スタートストップボタンを押してもミシンが回らない。	●糸巻軸が右側に行き糸巻状態になっている。	糸巻軸を左いっぱいまでもどします。	／
	●模様選択のLEDが点滅している。	点滅が停まるまで待ちます。	／
	●針を釜の中に落したままスタートさせたとき。	針を取除きます。	／
糸通しができない。	●針が上にあがっていないとき。	はずみ車を回して、針を上にあげます。	／
	●針が針棒の奥まで突き当たっていないとき。	針のとりつけ方を調べます。	5
	●糸通しレバーをさげたまま(糸通し中)誤ってミシンを回してしまったとき。	はずみ車を手でわずかに向う側(縫うときと反対)に回します。	／

次のような場合はお買い上げ店、または弊社特販課に御相談ください。

	故障の現象	原因	処置
1	電源スイッチを入れても、ランプがつかずミシンも回らない。	<ul style="list-style-type: none">・ヒューズ切れのとき。・電源コードが断線のとき。	お買い上げ店、弊社特販課に連絡。
2	スタート・ストップボタンを押してもミシンが回らず4～5秒でモーターのうなる音もしなくなる。 (ランプはついている)	<ul style="list-style-type: none">・かまの中に糸クズ等が入ったとき。・何かの理由でミシンが回せなくなったとき。 ※以上のようなときは、安全装置が働き、自動的にモーターが止まるしくみになっています。	<ol style="list-style-type: none">1. かまの中の糸クズをとります。2. 糸クズがとれない、または、原因がわからないときは、お買い上げ店、弊社特販課に連絡。
3	縫い速度調節レバーを動かしてもミシンの速度が変わらない。	<ul style="list-style-type: none">・電子制御部分が故障のとき。	お買い上げ店、弊社特販課に連絡。
4	糸通しのフックの先が折れてしまい、糸が全く通せない。	<ul style="list-style-type: none">・無理な使い方をしたとき。・細い針に太い糸を通したとき。	お買い上げ店、弊社特販課に連絡。

MEMO

MEMO



↑

2



4



発売元 / 東京重機工業株式会社

家庭製品販売部 特販課

〒182 東京都調布市国領町8丁目2番地の1

電話 (480) 5 6 5 5